

家畜衛生情報

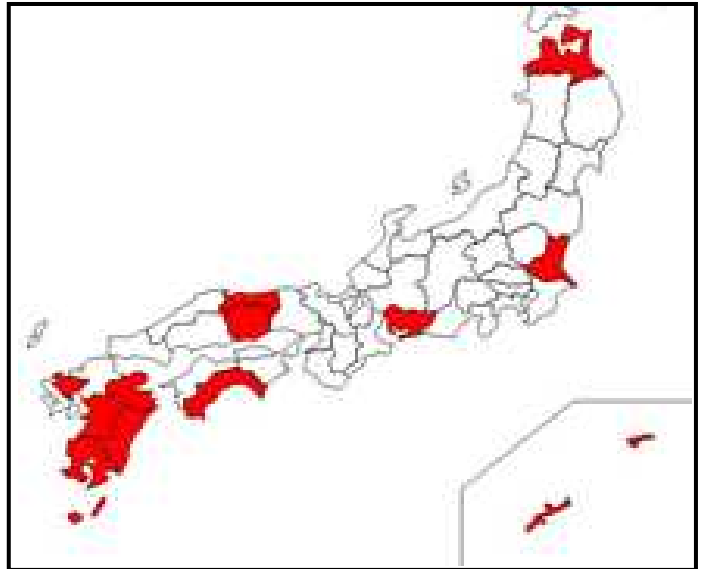
国内における豚流行性下痢の発生状況

昨年9月以降国内で、豚流行性下痢が続発し、現在12県で発生が確認されています。

1月下旬をピークに新規発生農場数は減少傾向にあるものの、県境を越えた発生が認められ、発生地域は拡大しています。

農場侵入防止対策の再徹底をお願いします。

3月18日現在の発生届出数
 198件179,204頭
 (うち死亡38,256頭)



発生県	初発事例確認日	発生件数	発症頭数 (暫定数)	死亡頭数 (暫定数)
沖縄県	平成25年10月1日	4	242	75
茨城県	平成25年11月18日	2	406	234
鹿児島県	平成25年12月11日	119	153,000	25,000
宮崎県	平成25年12月13日	52	14,981	9,326
熊本県	平成26年1月28日	5	1,060	250
愛知県	平成26年2月16日	5	780(通報時)	980
青森県	平成26年2月24日	1	2,548	419
高知県	平成26年3月4日	3	459	8
岡山県	平成26年3月13日	1	1,042	21
佐賀県	平成26年3月14日	3	1,910	492
大分県	平成26年3月16日	2	2,667	1,410
鳥取県	平成26年3月13日	1	109	41

平成26年3月18日現在速報値

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		

異状の通報
 はこちらへ

愛知県で豚流行性下痢の疑い事例（6例目）を確認

<疑い事例の概要>

農場：愛知県知多郡美浜町

症状：下痢、死亡なし

経過：3月20日、農場から家畜保健衛生所へ通報

家畜保健衛生所が採材し、遺伝子検査を実施、陽性を確認

治癒までの間、豚の移動を自粛要請

早期通報・豚流行性下痢の発生予防・感染拡大防止

1 早期通報

飼養豚を観察し、通常と異なる下痢、嘔吐、食欲不振、死亡等の症状が確認された場合には、家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

2 農場を出入りする畜産関係者、運送業者、建設業者、農場従業員等への消毒の徹底

農場や畜舎の出入口で、前掛け、手袋、使用資機材、車両、車両の荷台、タイヤ、タイヤハウス、運転席マット等の消毒の徹底をお願いします。

3 農場を出入りする者に農場専用の衣服と長靴の着用

農場入口で農場専用の衣服や長靴に履き替え、農場外からの病原体の持込を防止対策の徹底をお願いします。

4 野生動物の侵入防止

豚流行性下痢ウイルスと類似のウイルス性状の伝染性胃腸炎ウイルスは、野鳥によって農場間伝播が起きることがあることから、野鳥等の野生動物が飼料（食品残渣を含む）と接触できないように管理をお願いします。

5 適切なワクチン接種

全国で妊娠豚以外へのワクチン接種や、不適切な接種時期、接種回数といった誤った使用事例が認められることから、十分な免疫獲得のために、獣医師の指導のもと適切なワクチンの使用をお願いします。

6 良好な畜舎環境の維持

畜舎内の整理・整頓、清掃・消毒の定期的な実施など衛生管理を行うとともに、収容能力以上の豚の飼育を行わないなど、良好な畜舎環境の維持をお願いします。